

さやか、突然のお手紙、驚かせてしまったかな。
さやかに伝えたいことがあって、今、こうして手紙を書き始めています。

LINE でもいいんだけど、送ったあと、既読になっても戸惑うし、未読でも不安だし。
反応がわからない手紙の方がいいと思ったんだ。

直接伝えればいいじゃない？と言われてそうだけど、それは難しい。
さやかの顔を見ながら真面目に伝えるには、僕とさやかは親しすぎる。

男らしくないね、と笑われてもいいし、読みづらい字ね、とばかにしてくれてもいい。
とにかく、最後まで読んでほしい。

こうして手紙を送ってる時点で気づいているとは思っただけど、
僕は、さやかのことがすきだ。つき合っしてほしい。

いつから？わからない。
大学入学時の新歓で一目惚れしたような気もするし、
みんなで伊豆までドライブに行った時のような気もする。
とにかく、気づいたときには、さやかの姿を目で追いかけるようになっていた。

キャラじゃないのはわかってる。
宴会部長のオレに、真面目な告白なんて似合わないと思ってるんだろ？

きっと、今、さやかを困らせているのもわかってる。
さやかも、告白されるようなキャラじゃないものな。

ラブレターなんて書くのはじめてだからよくわからないけど、
普通なら、さやかのここが好き、とかあそこが好き、とか、夜も眠れない、とか
書くんだろうけど、正直なところ、どこがどう好きなのか、整理ができない。

ただ、さやかがいない時はさびしいし、
逆に、さやかがいる時はたのしい。
それだけ。それがすべて。

僕が伝えたいのは、これで全部。
次はさやかの番。さやかの返事を聞かせてほしい。

LINE でもいいし、直接でもいい。もちろん、手紙でも。
連絡を、待っています。